

全室上質なベッドで快適に 和泉屋



シモンズ社のベッドがある和モダンな客室



2020年8月に全室をリニューアル。シモンズ社のセミダブルベッドを配し、くつろげる空間にこだわっている。夕食は地豆腐をオリジナル味噌でつけたチーズのような味わいの「醗酵豆腐」や、野菜を野菜で煮た「菜菜煮」など前菜からヘルシーな料理が並ぶ。梅干しも漬け物も若女将の手づくり。希望者にはマクロビやヴィーガン料理*のプランも提供する。

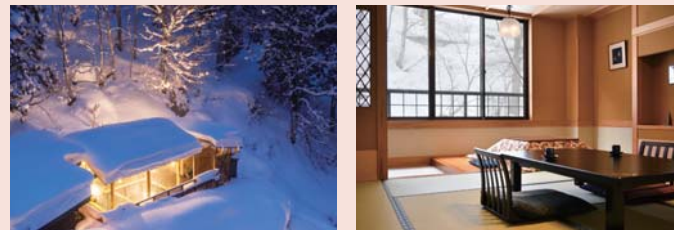
*動物性食品や乳製品、白砂糖などを使わない料理

■住所:新潟県十日町市松之山湯本7-1
■TEL:025-596-2001 ■5室 ■料金:1泊2食15,550円~
(1人宿泊は平日のみプラス3,300円~)(消費税・入湯税込)

露天風呂付き客室が人気 ひなの宿ちとせ



温泉熱で調理した「湯治豚」など郷土の味が楽しめる前菜



素足で歩ける全館畳敷き。客室は和室、和洋室のほか、段差の少ないバリアフリー客室にはかけ流しの露天風呂を設けるなど、高齢者にも配慮した造り。料理は地元の伝統食を集めた前菜から始まり、雪解けの水が育んだ棚田米を使った「棚田鍋」、鯉こくや煮物など懐かしさを感じる郷土の味わいに思わず笑みがこぼれる。

■住所:新潟県十日町市松之山湯本49-1
■TEL:025-596-2525 ■26室
■料金:1泊2食16,650円~(消費税・入湯税込)
*料金は2020年9月時点



①小正月の行事「むこ投げ」

集落の男衆が高さ約5メートルの薬師堂の境内から、初婿を天高く放り投げる

②無病息災と家業繁栄を願って行われる「すみ塗り」

「賽の神(別名:どんと焼き)」という神事で、お焚き上げでできた灰と雪を混ぜた墨を互いに塗り合う



700年ほど前、一羽の鷹が熱泉で傷ついた羽を休めていることから発見された新潟県・松之山温泉。この山峡の小さな温泉場で、毎年1月15日に「むこ投げ・すみ塗り」というちょっと変わった小正月の行事が行われている。

陽気なお祭りで新年を迎える

「イチ、ニノ、サン」のかけ声に合わせて、ポーンと放り投げられた和装の男性が宙を舞う①。高台にある薬師堂から投げられるのは、昨年結婚したばかりのお婿さん。雪の坂をゴロゴロと転がっていく。「むこ投げ」は江戸時代から約300年続く伝統行事で、かつては別の集落で行われていたものを松之山湯本地区の行事として引き継いだもの。

ひなの宿ちとせ・柳一成社長によると、これは「よそ者に村の娘をとられた腹いせから始まった」という奇祭で、現在では結婚して松之山温泉で暮らすことになった夫婦や、公募で選ばれた新婚さんなどが主役となるそうだ。

むこ投げの後には「すみ塗り」が続く。正月の門松や神棚の古札を焚き上げるどんと焼きは全国的に見られる行事だが、ここではそれだけで終わらない。灰と雪を混ぜた墨を互いの顔に塗り合うすみ塗りでは、おじいちゃんも子どもも女将さんも駐在さんも真つ黒。雪国ならではの国の国のお祭りのよう。口々に



湯守処・地炉(じろ)の「顔湯」。源泉スチームを顔に当てれば美肌効果が期待できる



雪化粧した蒲生(かもろ)の棚田。松之山の周辺には美しい里山風景が広がっている

立ち寄りスポット

白銀のブナ林を散策しよう
美人林 -びじんばやし-

雪に覆われる季節はより幻想的な趣になる「美人林」。ブナのすっとした美しい立ち姿からその名がついた。雪深い森を歩く「美人林スノーシューと囲炉裏体験」はガイド付き。囲炉裏でいただく甘酒は最高。

■料金: 入場自由。体験プランは約2時間2,700円
■松之山温泉里山ビジターセンターTEL:025-595-8588

プレゼント情報 5名様♪ しっとりモチモチ肌に 「松之山温泉フェイスマスク」



松之山温泉水+ヒアルロン酸の贅沢なマスク 2枚入り
巻末のアンケートにご記入の上、ご応募ください

Profile CHIKAKO NOZOE
旅行作家 野添ちかこ
観光の専門紙記者を経て、2006年からフリーで活動を開始。NIKKEIプラス1(日本経済新聞社)「湯の心旅」、BIGLOBE温泉などで温泉記事を連載中。著書に「千葉の湯めぐり」。3つ星温泉ソムリエ、温泉利用指導者(厚生労働省認定)、宿のミカタプロジェクトチーフ・アドバイザー。

